

平成 21 年度 第 2 回市長タウンミーティング議事録

と き：平成 21 年 4 月 11 日(土)

午後 2 時～3 時 30 分

ところ：西公民館

参加者：57 人

○市長あいさつ

(市長より、平成 21 年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問（男性）

地域安全功労者の表彰が平成 19 年度、蕨戸田まちづくり安全大会において、地域見守り隊から 3 人表彰され、大変励みになりました。ところが、平成 20 年度、表彰について問い合わせたところ、すでに締め切ったといわれましたが、早く問い合わせたところでは推薦できたようです。市民からの問い合わせや陳情がないと、市は動いてくれないのでしょうか。受身の姿勢ではダメではないかと思います。

回答（市長）

防犯ボランティアとして取り組んでいただいている皆さんの力は、市にとって大変大きな力です。受身ではなく行政の側から声をかけ、頑張っている皆さんに感謝し、励ましを行うべきであり、いただいた意見はただちに担当に伝え、21 年度から改善を図ります。

(安全安心推進課より：地域安全功労者の表彰については、例年、蕨警察署が主管する地域安全推進連絡協議会から担当課に各町会に対する推薦依頼が寄せられます。担当課では、この推薦依頼に基づいて同協議会の会員である各町会に対して、地域安全功労者の推薦をしていただけるようお願いをしています。

お尋ねの内容は、同協議会の会員ではないコミュニティ委員会の皆さんの推薦に対するご意見、ご要望であります。昨年まで、地域安全推進連絡協議会からコミュニティ委員会に対して、正式な表彰者の推薦依頼はありませんでしたので、担当課では、個別に対応をしていた経過があります。今年度、各地域において献身的な活動をされているコミュニティ委員会の皆さんにも、ぜひ推薦枠を設けてほしいとの相談を蕨警察署に申し入れをしたところ、蕨警察署では、21 年度から各コミュニティ委員会において、2 名の地域安全功労者表彰を実施していただけることになりました。)

質問（男性）

錦町はまだ区画整理中で、生活用水が流れている側溝が多数存在しています。市では側溝の清掃について、年間の計画がありますか。また、市民の手に負えない部分もあるので、市民が要望すれば対応してもらえるのでしょうか。

回答（市長）

錦町地区の皆さんが協力しあいながら清掃活動をされていることは存じています。予算には限りがありますが、要望にはなるべく応えていきたいです。

(安全安心推進課生活環境係・道路公園課より：市内の道路に設置してある「雨水枡」〈市内の雨水枡の設置数は約1万1,000箇所〉の清掃は、道路公園課において年間1,000回程度、主に、泥だめに堆積したヘドロ等をバキュームカーで吸引し、高圧洗浄車で水洗いをしています。

また、蓋がないU字側溝（下水溝）の清掃は、生活環境係で、蓋があるU字側溝（下水溝）、長尺U字側溝などの清掃は、道路公園課が担当しています。

限られた予算の中で、生活環境係では、町会や個人、事業所など各地域から連絡等があった場合、道路公園課と調整しながら、汚泥の回収・清掃を行っています〈多い月で3、4回程度〉。)

質問（女性）

不法滞在のフィリピン人家族について、市内で残留を求める署名活動があったということ、テレビを通して初めて知りました。蕨市議会では全会一致で家族を残すよう、意見書が出されたと聞きましたが、いろいろな考え方があっていいはず。全会一致というのが腑に落ちないです。市としてはどのように考えていますか。

回答（市長）

ご質問の件は最高裁判所の判決を受け、法務大臣の権限で行っていることで、市長の裁量が及ばない問題であり、また、条例を制定してそれを市民の皆さんに守っていただく立場である市長の発言は影響も大きいこともあり、コメントは差し控えさせていただきます。また、市議会の意見書は、市長が関与するものではなく、市議会の判断で出されたものであります。なお、現在の外国人登録制度からすると、市町村の窓口では、不法滞在か否かをチェックする仕組みになっていません。私は市政を運営していく立場であり、今後の動向を見極めながら、これからも市民全体の生活を守ることを考えて行動していきます。

質問（男性）

蕨市は良くなったと思いますが、平成21年度の議会費が約2億3,000万円とあります。これは、ほとんどが議員の報酬なのですか。また、議員18人は多すぎではないでしょうか。半分くらいでいいのではないのでしょうか。ケーブルテレビで議会の中継を見っていますが、

書いてある文章を読むだけで、無機質に感じます。

職員数や管理職の削減を進めていますが、自然減だけでなく、早期退職などを進めるべきではないでしょうか。民間では、もっと厳しい対応をしています。

回答（市長）

議会費には、調査研究費や議会事務局の職員給与費など議会運営に関わるあらゆるものが入っています。議員数については、市民の代表としての議員なので、議員の数が何人くらい必要なのかということは、最終的には市民の皆さんの判断になると思います。職員数に関しては、民間では早期退職や降格など厳しい状況であることは十分理解しており、市でも昇格や給与のあり方について検討していく必要はあると考えています。

質問（男性）

市の財政が厳しいとのことですが、町会もやりくりは大変です。安全安心まちづくり交付金が減額されることはあるのでしょうか。

資源ごみは、財政的に町会運営が大変厳しいなか、貴重な財源です。その資源ごみの持ち去りが多発しているので、市で対策を講じてもらいたいです。

市内には、37町会ありますが、1,000世帯以上が9町会、500以内の世帯数の町会が7町会と、世帯数のばらつきがあるので、見直しをしてほしいです。

回答（市長）

町会に交付している安全安心きれいなまちづくり交付金は、資源ごみの売り上げに関わらず交付しています。資源ごみの持ち去りに対しては、条例で持ち去りの禁止を定めていますが、今後、更なる対策についても検討してみたいと思います。また、町会に関しては、「現在の住居表示に沿った、世帯数のバランスのとれた町会に」、といった声もありますが、町会単位での資産などもあり、行政から一方的に行えることではないので、町会同士で引き続き話し合いをされていくなかで、必要な助言をしていきたいです。

質問（男性）

まず、市長給与30%削減などすばらしい。市民の市民による市民のための市政が行われていると思いますが、駅前や商店街の放置自転車をなんとかしてほしいです。歩道をすごいスピードで走ってくる自転車もあり、危なく感じます。マナーの徹底をしてほしいです。

回答（市長）

放置自転車対策につきましては、いろいろな形で力をいれて対策を講じ、放置自転車の件数、台数ともに減少してきてはいます。担当課では、いろいろと調査・研究しているほか、特に東口駅前の放置自転車対策の一環として、川口市と協議もしています。引き続き減少に向けて工夫・努力をしていきたいと考えています。

質問（女性）

企業の倒産などで、職を失った人を対象に、川口では派遣村が開かれたようですが、蕨では行われないのですか。

回答（市長）

派遣村は市ではなく、NPO や市民団体が行っているもので、市としては、職を失った人の相談を受け、ハローワークなどを紹介するなどしています。

質問（女性）

蕨戸田衛生センター事務局長の勤務延長と消防長の人事について、議会のある会派がチラシで攻撃していましたが、業務に何か支障・問題があるのでしょうか。遠隔地に住居を置く人が消防長となりましたが業務に支障はないのでしょうか。

回答（市長）

現在、衛生センターでは老朽化した焼却炉を、経費を節約しながら、あと 15 年程度使えるようにする延命化工事や、新たな事業である「リサイクルフラワーセンター」をこの秋に開設する計画など、大変に重要な事業を進めているところです。そこで、こうした重要な事業を、責任を持って完了してもらうために、経験豊富で現場職員からの信頼も厚い事務局長に定年延長制度を活用して、引き続き仕事をしてもらえるようお願いをしました。したがって、ごみ処理の安全安心の体制を整えたものであります。また、消防長は、これまで市民生活部長として、市の危機管理監を兼任し、安全安心のまちづくりの経験と実績がある職員です。夜間は副署長クラスの職員が当直勤務し、指揮をとることになっており、必要に応じて消防署長もすぐに出勤できる体制となっています。更に、大きな火事の場合は消防団の皆さんにご協力いただき、出動をお願いすることになっていますので、消防体制には何ら支障はありません。

質問（男性）

公園に「野球、サッカーはできません」と禁止事項だけ書かれている看板がありますが、親子でキャッチボールくらいできたほうがよいと思います。市の職員には、禁止するだけでなく、やれるようにするためにどうすればいいかという観点で、市民サービスを考えてほしいです。

回答（市長）

ご指摘の通り、職員 1 人 1 人が今まで以上に、市民のためにやる気をもって市民サービスに努めることが大切であり、知恵を出して、問題を解決していきたいと考えてします。現状でも、親子でのボール遊び程度であれば可能ではないかと考えられますが、その辺りのルールも含めて、検討してみたいと思います。